

令和第3年度第4回茅野市地域創生総合戦略進行管理有識者会議（会議録）

開催日時	令和4年2月28日（木） 午後6時00分から午後7時30分まで		
開催場所	茅野市役所702会議室、Web会議（Zoom）		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
事務局	<p>会議次第</p> <p>1 開会</p>		
市長	<p>2 あいさつ</p> <p>皆さんこんばんは。</p> <p>ご承知のとおりオミクロン株が猛威を振るい続けています。本日、長野県下では久しぶりに300名を切ったところであり、このまま落ち着いてくれることを願っています。皆様方にも引き続きご注意いただきながら、ご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>さて、茅野市は今、「若者に選ばれるまち」を目指して、様々な事業の種まきや取り組みを始めているところですが、来年度以降、この取組をさらに進めてまいりたいということで、第2次総合戦略の改定を行いたいと考えています。また、今まで以上にこの地方創生の取り組みを進めるために、SDGsレポートの作成を予定しており、この2点について協議いただきたいと思います。併せて、以前からお話をしている、茅野市DX基本構想の素案についてご説明をさせていただいて、皆様方からご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願ひします。</p>		
市長	<p>3 委員の交代について</p> <p>委員の交代がございますのでご紹介をさせていただきます。</p> <p>金融の分野からご参加をいただいていた八十二銀行茅野支店の伊原委員が人事異動に伴い茅野市を離れることとなりました。後任の中村勝哉茅野支店長がこちらの委員として関わっていただけることになりました</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p>		
委員	<p>どうぞよろしくお願ひします。</p>		
市長	<p>ありがとうございました。</p>		
事務局	<p>4 会議事項</p> <p>それでは会議事項に入ります。まず本日2件の協議事項と1件の報告事項がありますので、まず協議事項について担当から説明いたします。</p>		
事務局	<p>【協議事項】</p> <p>(1) 茅野市地域創生SDGsレポートの作成について 資料1-1、1-2 －茅野市地域創生SDGsレポートについて説明－</p>		

市長	今説明いたしました、こちらのレポートは企業版ふるさと納税の間口を広げて、受けやすくするということが狙いの一つになっています。民間企業の方にも積極的にまちづくりに関わっていただけるような体制をつくっていきたいと思っています。
事務局	(2) 第2次茅野市地域創生総合戦略の改訂について 資料 2-1、2-2、2-3 －第2次茅野市地域創生総合戦略の改訂について説明－
市長	資料 2-3 の SDGs 関連事業一覧において、SDGs の 17 のゴールと総合戦略のすべての事業を対応させていますが、全ての目標に丸がついてないのはなぜかと思う方もいるかもしれません。これは、今取り組んでいる SDGs のゴールに丸がついているのではなくて、市として応援していただきたい事業がここに記載されているという見方をしていただけるとわかりやすいかと思います。 SDGs と関連した事業で、かつ民間企業さんにも応援をしていただきたい事業が一覧として記載されているということでご覧いただいた方が、捉えやすいのではないかと思います。
委員	説明は以上となりますが、ご質問ご意見があればお願いします。
委員	ありがとうございます。すごく資料が見やすく、市として何を応援してもらいたいのかが、わかりやすいと思いました。 それで質問ですが、企業がふるさと納税の対象事業を選ぶ際に、この表を参考に、例えば 5-2-7 とか 5-2-8 の里山づくり支援事業といった事業を選択するというイメージでしょうか。
市長	おっしゃるとおり、この項目に沿って、各企業が、自分が支援したいと思う項目があればそこにふるさと納税を寄附いただくという認識で結構です。
委員	わかりました。 これによって、より一層納税するための目的意識が企業側にもできやすいのではと感じる一方で、寄附する、される項目が偏る可能性は危惧されますので、その辺りの工夫が必要ではないかなと感じました。
市長	ありがとうございます。 少し補足ですが、この企業版ふるさと納税の対象は、本社が茅野市以外にある企業です。そのため、茅野市内の企業さんはまた別の形になるのではないかと考えていただけるとわかりやすいかなと思います。
委員	市外の企業さん向けに、もう少し具体的な、説明資料が準備されるということでしょうか。
事務局	準備させていただく予定です。
委員	ありがとうございました。ふるさと納税を通じて市外の企業さんと接点を持ちたい、ということは理解いたしました。市内にいる企業も目的を持って納税ができるのであれば、より一層寄附も進む可能性があると思いますので、市民、市内の企業向けも含めて、みんなで地域を盛り立てるという機運が盛り上がっ

市長	<p>ていったらいいなと感じました。</p> <p>ありがとうございます。市内の企業さん向けのことも、良い形を検討していければと思います。</p>
委員	<p>SDGs の取組で行政が動き始めたのは喜ばしいことです。</p> <p>私は茅野市の地球温暖化対策協議会に参加しており、その活動の一環でエコレポートを作成していますが、さんの会社は SDGs に先進的に取り組んでいらっしゃるようで、エコレポートの中でも市内企業にご協力いただきました。</p> <p>また、昨年は、東海大学附属諏訪高等学校の学部の皆さんと連携し、グリーンカーテンを高校のベランダに作ったり、諏訪南のリサイクルセンターの親子見学会も実施するなど、いろいろな活動をやってきました。子どもたちが SDGs やゼロカーボンに関して興味を持って、大人と一緒に活動していることが重要だと思っており、このように非常に良い活動ができています。</p> <p>先日、ローカル SDGs ビジョン、ありがたい地元という研修会に参加しまして、まちをどのように作っていくか、地元をどのように盛り上げていくか、何を作りたいのかということを考える研修会でした。まちを盛り上げるにあたって、例えば企業や学校など、誰と連携するか、その結果どのようなことが起こるかを明らかにしていくことが重要だと思います。今回の SDGs レポートは実施にあたっての課題や茅野市の方向性を明らかにするものになるのだろうと、いろいろ模索しながら研修会を受けてきました。</p> <p>今回のこの SDGs レポートは非常に道理にかなった活動だと思います。ぜひこれからも進めていただきたいし、協力もしていきたいと思っています。</p> <p>また、どんなにすごい活動をしていても、やはり地道にやっついていかないと、ただの絵に描いた餅になってしまう。一步一步、細かい活動をやっついてはどうかということで、私たちのエコレポートも 3 月に出ますのでぜひ市長にもお読みいただき、その内容も SDGs レポートの方に少しでも入れていただければありがたいなと思っています。</p>
市長	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>地道にやっついていくことが大事だと私どもも思っています。SDGs は世界中で企業も個人も一生懸命進めています。ですからやはり行政も手を携えて SDGs の実現に向けて進んでいくことが大切だと思います。民間企業からすると、この市ではこんな活動してるよとか、こんな意欲でやっていますよ、ということがうまく発信できて、そこでまた色々な交流ができれば良いのではないかと思います。</p> <p>総合戦略とは直接的に関係ありませんが、茅野市として来年度ゼロカーボン推進室を設けることで動いています。そのような活動に対しても皆様方から色々なご意見をいただければ大変ありがたいなと思っていますので、よろしく願います。</p> <p>それでは次に茅野市 DX 基本構想の素案について説明いたします。</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>(1) 茅野市 DX 基本構想の素案について 資料 3-1、3-2  —茅野市 DX 基本構想の素案について説明—</p>
事務局	
市長	<p>お手元にまだ資料が届いておらず、説明だけでわかりにくい部分があったかと思いますが、申し訳ありません。</p>

	<p>大ざっぱに言いますと、この構想は、こういった考え方、こうした思いを基本にして、一つ一つの事業をこれから進めていきますよということ。そしてその目指すところは、福祉、教育、環境、産業振興のどの分野でも、たくましくやさしいしなやかな交流拠点CHINOを目指していこうということです。色々と細かいことを書いていますが、そこを目指するためにみんなでこの仕組みの中でやっていこうということが書いてあります。あくまでもこれはまだ素案ということで、庁内だけで作っており、見落としている部分や気づいていない部分があるかと思しますので、遠慮なくご質問やご意見をいただいて作り上げていきたいと思えます。よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>民間企業も技術革新はもう避けて通れないところだと思えますので、このようなことをいち早く構想し、進められていて素晴らしいと思えました。一点質問ですが、この構想は市役所のメンバーだけで検討していらっしゃるのか、或いはコンサルティングや専門家と相談しながら作っていらっしゃるのか、どちらで進めていらっしゃるのかをお教へていただけますか。</p>
市長	<p>DX 基本構想の策定に当たっては、コンサルティングを入れています。</p>
委員	<p>当行も以前は自分たちで進めていこうと思っていました、今は色々な専門家の知恵をお借りして取り組んでいるところです。ぜひ専門家の意見を積極的に取り入れて、進めていかれた方が良いのではないかと、というのが一つです。それから、もちろん市役所の内部でもそのような人材の育成が必要だと思えますので、人の育成を積極的に進めていければよろしいのではないかと、思ったところです。</p>
市長	<p>今回の資料 17 ページに今後の推進体制の図を記載させていただいています。今後は、協議会を設置しながら進めていきたいと考えていますが、そこには、有識者やアドバイザーといった方々にもご参加をいただく予定で考えています。コンサルティングも大事ですが、単純にお任せをしてしまうとどうしても茅野市の視点などがなかなか反映されてこないということで、庁内でも、また市民の皆様ともしっかりとお話するということが、大事だと思っています。そうは言ってもやはり専門家の目も必要だと思ひ、一緒に進めているところです。</p>
委員	<p>この仕組みを進めていくことは大賛成ですし、やっていくべきことだと思ひます。その上で、DX 基本構想を進めるにあたっては、デジタルになじみがなく、DX の取組に乗りたくても乗れない人たちがまちの中にまだいるタイミングだと思ひます。先ほど、DX の取組に乘るか乗らないかの選択権が市民にあるというご説明をいただきましたが、乗らない選択をした場合はどうなるのでしょうか。</p>
市長	<p>まず、DX の取組に参加できるよう、一生懸命、使い方を教えるというのは大前提にあります。その上で、例えば明治維新のときに絶対にちょんまげを取らなかつた人もいるわけで、そういう人たちも尊重してかなければいけないだろうと思ひています。決してその人たちを無視するというのではなくて、できるだけ DX の取組に乘っていただけるようサポートしたいと思ひますし、また、本人が気づかないところでも技術の恩恵を受けていただけるようにしていきたいと考えています。</p>

<p>地域創生政策 監</p>	<p>私たちも、日々色々な技術の恩恵は受けていますが、その細かい仕組みを理解していない、ということはありませんよね。例えば、コピー機やパソコン、プリンターなど、具体的な仕組みは分かっているなくても使うことができます。ATMも、自分の個人情報や暗証番号を預けて利用しているかと思います。</p> <p>私たちが細かい技術を知らなくてもデジタルの恩恵を受けられるようにすることは、全ての市民にとって平等であるべきですし、いわゆる「オプトイン」という、自分がそのサービスを受けるために、情報等を預けて取り組みに参加するという概念ですが、自分の情報を活用してDXの環境の中に入って行く。すなわちオプトインをするかどうかという個人の選択の権利は守られるべきであると考えています。</p> <p>すべてデジタル環境の中でないと市民生活が送れないということになるとこれは大きな問題で、新たな格差が生まれてしまいますので、現状においてはスマートフォンやパソコンが使えない人たちに対しても、きちんとサービスが平等に与えられなくてははいけません。こういったことが、これからのデジタル社会に移行していく中では重要です。</p> <p>よく誰一人取り残さない、という言葉は聞くかと思いますが、この言葉にはしっかりと自分で勉強して、どんどんデジタル化についていかないと取り残されるぞ、というような恐怖感があるような言葉になっていますが、私どもはそこをきちんと使い分ける。誰一人残すことなくデジタル化の恩恵は受けるが、自分のデータを預け、活用することはその人の自由意志である。そういう権利があるということ、そしてその間で格差を生じさせないということを確認していきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。今私の周りには70代以上の一人暮らしの親族がいて、iPhoneを持たせても電話をかけるぐらいしかできないという状況です。今お話を伺って、そのような方々も取り残されないように網羅していただけるんだということを感じて安心しました。</p> <p>高齢の方たちでどうしてもデジタルを理解し、使うことがないという方たちが、まだまだいる世代ですのでぜひそんなところのご配慮は手厚くいただけたらありがたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>DX基本構想の素案は、非常に満遍なく網羅しており、とてもよくできているなという感想を持ちました。構想の中に生産性が低いという記載がありましたが、デンマークは大体（生産性が）日本の2倍くらいだと言われています。最大の理由は、リカレント教育やリスクリングということだと思います。</p> <p>特にデジタル分野での進歩はすごく早いので、1回学んだらおしまい、というはほとんどなくて、頻繁にリスクリングできるような環境が必要だと思います。残念ながら我々大学だけでは本当の現場に必要なことは十分に把握できないので、重要なのは、実際に企業の方や医療のことでしたら病院の方などそういう方が何に困っているかがわからないと、なかなか何を使ったらいいのかが把握できない。</p> <p>もう一つは、具体的に考えないと、こういう計画は、多分うまくいかないだろうと思います。具体的にデータによってどのような利点を提供できるのかというところは、具体的に示していくことが必要だと思います。期待しています。</p>
<p>地域創生政策 監</p>	<p>まず私たちの働き方や今までの古い規制、法律とかも並行して変えていかないと、なかなかDXの取組は進んでいかないのであると思います。</p> <p>また今おっしゃったようにリカレント教育、例えばデンマークですと「フォル</p>

	<p>ケホイスコーレ」みたいにもう1回学び直しをする仕組み。デジタルではなくて、きちんと人が集まって勉強するというような仕組みもあるので、様々な方法を取り組んでいく必要があると思います。</p> <p>この基本構想を基に、今度は計画の中で具体的に進め方考えていきますし、その計画も今までのように一度作ったら5年、10年固定してその目標に取り組んでいくというのではなく、とりあえず3年を周期として、どんどんバージョンアップしていこうかなと思っています。</p> <p>またご意見いただければと思います。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>基本構想、内容は盛りだくさんでしたが、特に暮らしのDXと産業のDXということで分かれて書かれていたページと、最後の組織体制のページは見て非常に理解しやすくなりました。</p> <p>これを見ていると本当にDXが役に立つのだなということを強く感じましたので、ぜひ積極的に進めていただきたいなと思いましたし、協力できるところは協力したいと感じました。</p>
委員	<p>DXの先にはデジタル田園都市国家構想も絡んでくると思いますが、このデジタル田園都市国家構想の中に地域の大学の担う役割は非常に重要になると書かれています。</p> <p>諏訪東京理科大学やまたはそれ以外の大学とのデジタルに関しての連携というものは、これから考えていくのでしょうか。</p>
地域創生政策監	<p>公立諏訪東京理科大学の中での研究も本当に素晴らしいものがありますし、特に医療や情報通信における技術はすばらしいなと拝見しています。</p> <p>また、今ご指摘いただいたとおり、国ではデジタル田園都市国家構想のような、地方から国の制度なり仕組みを変えていこうという取り組みが進められておりますので、近隣市町村に限らず、先進的に取り組みを進めている他の地方都市と連携していくということが肝要ではないかなと思っています。</p> <p>基本構想の策定に当たってアドバイスをいただいているのも、もう10年前からデジタルを推進している福島県会津若松市でコンサルティングを行っている企業ですので、そのような先進事例もどんどん取り入れて、その経験を反映していただいています。これから他の地方都市との連携や大学との連携は進めていきたいと思っています。</p>
委員	<p>SDGsレポートに関して、企業が企業版のふるさと納税を行うメリットをホームページで出すということでしょうか。レポート自体を具体的にどうやって利用するか、どうやって活用していくかをお伺いしたいです。</p> <p>また、これから人口は、どうしても減ってくると思いますので、そのためには効率化を絶対進めなければいけないと思います。DXはぜひ進めていただければと思います。</p>
地域創生政策監	<p>SDGsレポートはまだ始まったばかりですが、特に首都圏や県外の企業の皆さんが、地方のSDGsに対してどのような思いを抱えており、どのように期待をしているのか、そのために寄附をしようとしているのかは我々ではわかりません。</p> <p>レポートについては、このような活用の仕方がありますよ、ということだけではなく、総合戦略の幅、間口を広げていくきっかけにつながればと思います。今後、発信側、受け手側双方でどんどん価値が広がっていけばよいと思います。</p>

委員	<p>たまたま自分もこの DX については少々内容が理解できるかなという程度ですが、先ほど話があったように、多分年をとるとともについていけなくなるのではないかと思います。</p> <p>わからない、難しいということに多分自分も陥っていく可能性があります。そうしたときに、DX は人にやさしいものでなければならない。つまり AI 技術で人の考えを先回りして、サポートするような DX にしていただければ、本当の意味で市民のための DX になっていくのかなと思います。</p> <p>これからデジタルの取組を進めていくと色々複合的な問題も出てくると思いますが、今後パブリックコメントなどで色々意見を求められたときに説明していただく際に、ぜひとも取り入れていただければと思います。</p>
委員	<p>DX の取組が進んで一番恩恵を受けるのは、おそらく今デジタルとは縁遠いお年寄りだと思います。</p> <p>その場合、やはりデジタルリテラシーといいますか、デジタルスキル。これを何とかしてあげないと、最も恩恵を受けるべき人たちがそこにアクセスができない。ちょんまげが切りたいけど切り方がわからない、なぜ切らなければいけないのかという背景の部分もしっかりとクローズアップしないと、なかなかリテラシーというものも上がっていかないのではないかなと思いますし、またどうしてもアクセスができないという方も、間違いなくいらっしゃる。それは自分で、オプトインというのではなく、判断ができないというか、いわゆるセーフティネットなんかもしっかりと構築していただきながら策定を進めていただきたいなと思います。</p>
委員	<p>私も 70 になりましたので、生涯を通じて学び続けていくリカレント教育は非常に重要だと思っています。</p> <p>DX はぜひ 3 年と言わず、どんどん着手して欲しいと思います。理由は年を取れば取るほどいつ亡くなるかわからない。そのような気持ちがありますので、3 年とは言わず、ぜひ今年中に進めて市民に浸透させるなど、スタンスを変えていただきたいと思います。3 年計画とか 5 年計画というのは最近よくありますが、3 年目、5 年目に結果が出てきても遅いのでは。やはり評価するのは 1 年が勝負だと思います。はっきり言えば半年で形ができなかつたら無理だろうと思います。ぜひ DX をスピード感をもって進め、小中高生も DX だと言っているようなまちをつくるというような気構えでぜひ強力に推進してもらいたいと思います。</p>
市長	<p>スピード感持って進めてまいりたいと思います。</p> <p>皆様方に本当に様々な角度からご意見をいただきありがとうございました。冒頭の基本構想の中での説明のとおり、今までの市のまちづくりは非常にアナログで、人海戦術でマンパワーを使ってやってきましたが、これまで茅野市が大切にしてきたことを守るためにデジタルの技術を活用していこうという考え方はです。アナログとデジタルのハイブリッドで、これからの茅野市のまちづくりを進めていきたいという思いでこの基本構想は進めています。</p> <p>それがある意味茅野市のオリジナルの部分で、茅野市は、今まで例えば福祉 21 という市民と行政とがパートナーシップのまちづくりを進めてきましたが、この新しいバージョン、アナログとデジタルのハイブリッドバージョンを作り上げるために、こういった考え方をベースにしていきたいということです。茅野市はアナログの力で成し遂げてきたという自信がありますので、そこにまた人</p>

	<p>手がこれから足りなくなるという部分を考慮した形のものを作り上げて、持続可能なものにしていきたいということです。また皆様方からいただいたご意見をしっかりとこの中に取り込みながら、進めていければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>5 その他 今後のスケジュールについて</p> <p>それでは2点ご連絡です。 1点目は、次回の会議は少し開きますが夏頃開催させていただく予定です。内容は総合戦略の進捗状況につきまして、ご報告をさせていただくという案件を予定しています。日程等につきましてはまた改めてお知らせします。 2点目は、前回、委員さんから日中の開催もできるのではないかというご意見をいただきまして、本日30分ほど開始時間を前倒しさせていただきました。引き続き会議の時間につきましては調整をさせていただければと考えていますので、よろしくお願いいたします。 その他、皆様から全体を通じて何かありましたら、ご発言いただければと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
事務局	<p>6 閉会 それでは以上で会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。</p> <p>(19:30)</p>